

高瀬武次郎 たかせ たけしろう 漢學者、文學博士。明治元年十一月十六日讃岐國生乳、昭和二十五年二月九日歿（八六八一—九五〇）。字子克。號惺軒、惺軒子。明治二十一年東京帝國大學文科大學漢學科卒。大學院に進み支那近學史を研究。二十九年同大他諸大學で講師を務め、同志と王學會を組織して陽明學を研鑽。四十五年海外留學、歸朝後の大正四年京都帝國大學文科大學教授。昭和二年経営進進講。詩を鈴木豹軒（虎雄）に學んだ他、和歌を能くし山本行範の師事した。

著書『日本と陽明學』（明治二十一年十一月十五日鐵華書院）、『精神陽明學階梯』（明治二十二年十月六日鐵華書院）、『楊墨近學』（明治

二十五年五月二十五日金港堂書籍株式會社）、『問題解答支那論理珠塵』

（明治四十一年四月二十一日參天閣）、『縮神陽明學新論』（大正四年

十月二十日文盛堂書店）、『四言教論』（大正十一年一月二十一日京

都・自刊、大阪・洗心洞文庫）、『二輪執齋』（編、大正十二年十月

二十五日京都・二輪繁藏刊）、『二輪執齋著古今本大學講義』（編、昭

和二年七月二十一日中田彦二郎刊、執齋會藏版『執齋全書』（、可高

瀬先生進講録（大學に編録）』（九

山豐編、昭和四年一月八日京都・

中島書院）、『東京鼓腹集』（昭

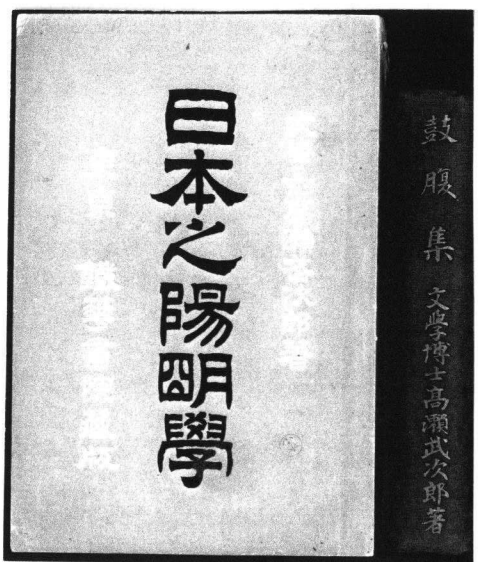
和十七年九月二十日大阪・洗心洞文

庫）、『鼓腹集』（昭和十五年十一月

月二十日大阪・洗心洞文庫）、『蕃

山傳』（再版、昭和十一年十月一日

十五日電氣・龍澤光造刊）、『藤樹先生樹論傳』（岩本一洋畫・高瀬



澤草解、昭和十四年八月二日發賣、懸社藤樹神社、等々二集「鼓腹集」禮歌部

(昭和十七年十一月二日京都・皇教會)、可水台學「(昭和十九年十

一月二日皇教會)等。